

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆企業倒産5カ月連続800件超 建設業も5カ月連続で前年上回る

・東京商工リサーチは2025年1月の企業倒産(負債額1000万円以上)が、前年同月比19.8%増の840件、負債総額は同53.4%増の1214億4900万円だったと発表。「人手不足」倒産は3.1倍増。件数は5カ月連続で800件を超え1月としては2014年の864件以来11年ぶり。前年同月比も5カ月連続プラス、増加率は3カ月ぶりに10%以上。

◆長期金利、1.34%に一段と上昇 14年ぶりの高さ

・12日午後の国内債券市場で長期金利の指標となる新発10年物国債利回りは前営業日を0.025%上回る1.340%へ一段と上昇(価格は下落)した。2011年2月以来、14年ぶりの高水準となった。日銀による早期の追加利上げ観測や、政策金利の到達点(ターミナルレート)が切り上がるとの見方から国内債には売りが続いている。

◆コンビニで市販薬購入、薬機法改正案を閣議決定

・政府は医薬品医療機器法(薬機法)の改正案を閣議決定。一定の条件を満たせば薬剤師や登録販売者がいないコンビニなどの店舗で市販薬(一般用医薬品)を買えるようにする。福岡厚生労働相は「創業スタートアップに支援を行う事業者などに機器や施設整備、事業化支援への補助を行うことを想定している」と説明。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆リンナイ、4～12月期の純利益32%増 国内好調で最高益

・リンナイが発表した2024年4～12月期の連結決算は、純利益が前年同期比32%増の228億円と同期間としては過去最高となった。省エネ意識の高まりを背景に、国内で電気とガスを併用するハイブリッド給湯器の販売が伸びた。米国でも前年同期にあった在庫調整の影響が一巡し収益が改善した。

◆三協立山、陳列ロボットを成長源に コンビニ作業効率化

・三協立山は金沢工業大学と提携し、コンビニエンスストアなど小売店向けの自動陳列ロボットの開発を進める。アルミ建材の技術を生かして商品棚を手掛ける三協立山とロボット研究を進める金沢工大のノウハウを生かし、人手不足に悩む小売業を支援。建材需要の減少を受け伸び悩んでおり、新たな成長源を探る。

◆進む脱炭素経営、収益と両立 売上高当たり排出量3割減

・企業の脱炭素経営が進んでいる。主要企業の2024年の売上高当たり二酸化炭素(CO2)排出量は3年前から3割減った。工場やビルでの再生可能エネルギー由来の電力利用を増やすなどして、排出削減と収益成長を両立させている。温暖化対策の国際的な目標達成に向け、取り組みを加速できるかが課題となる。

《 注目商品 》

■パナソニック、9人分の食器が洗える45cm幅・前開きの食洗機

・大容量とコンパクトを両立させた幅45cmの「ビルトイン食器洗い乾燥機フロントオープンタイプ(NP-45EF1W)」を2月に発売。スライド式3段カゴにより、マイボトルや弁当箱、小物類を含め、約9人分の食器・調理器具をまとめて洗浄。ストリーム除菌洗浄により洗浄と除菌を同時に行う。



■タカラスタANDARD、キャラクターキッチンパネル

・「ムーミン」をモチーフにしたホーロー製のキッチンパネルと、リビングや子ども部屋などの壁に使えるホーロー内装材を発売。独自の「高品位ホーロー」は、耐火性や耐久性、清掃性に優れ、マグネットで自由自在に収納できるのが特徴。



■三協アルミが外構職人向け「現調バッグ」

・「現代の名工」小林徹氏が監修したエクステリア職人向けの「現場調査用バッグ」を発売。小林徹氏は名工、黄綬褒章など技能系の国家表彰を最年少で受章。エクステリア職人の現場調査時の使いやすさを重視、レイアウトにこだわった。

